



紅白対抗で運動会



選手宣誓!



ボランティアさんの
楽しく珍しい催しもの



今年1年の思い出は何ですか?

当センターも平成最後の年末を迎えようとしています。
 今年も利用者様をはじめ、多くの皆様のご協力とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。
 今回のけやき通信では、今年1年の振り返りということで、利用者様に行事などで撮影した写真をスライドショーで紹介致しました。今年ほどのような出来事があったのかご紹介致します。

おやつ作り



利用者様の畑で収穫された大きなさつまいもを頂きましたので、それを使って皆さんと一緒にさつまいも団子を作りました。それぞれに団子を丸めて、あんこ・きなこ・ごま塩の3種の味で、「あっさりしていて美味しい。」「もっと食べたいわ。」と皆さんからは大好評! 甘くておいしいさつまいものお陰で大成功でした。



個別機能訓練をはじめます

趣味や地域などの活動に参加できたり、利用者様が自立した生活を営めることを目的とした、生活動作に関連した動きを反復する訓練を行います。



- ① 同じ目的を持った5名程度以下のグループで直接機能訓練指導員が行います。
- ② 3月に1回は利用者様の居宅を訪問した上で内容や状況を説明し訓練内容を見直します。



けやきの風景



寒い時期になりましたが、けやきの中は賑やかに午後からの時間を過ごしております。ボーリングや魚釣りゲーム、ボールを使ったゲームなど…。紅白戦になるととても盛り上がり熱気であふれています。

人生ゲームで
大笑い!

お菓子の付いた
魚釣り!



今までありがとうございました。

この度12年間働かせて頂いたけやきを、今年いっぱいをもちまして退職することになりました。利用者様、家族の皆様には、色々と学ばせてもらい、支えられそして楽しい時間を共有させてもらえたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。



ここけやきで学ばせてもらった事を、これからの私の新しいステージで必ず生かしたいと強く思っています。

最後になりましたが、皆様お体にはくれぐれもご自愛下さい。

編集後記

今年も残すところあと僅かになりました。皆様にとってはどんな1年でしたか？

今年は甚大な被害を及ぼした自然災害の多い年で、夏には日本や世界各地での猛暑も記憶に新しいのではないのでしょうか。

平昌五輪では羽生選手が五輪2連覇という日本人にとって喜ばしいニュースもありました。来年はぜひこのような温かい気持ちになるニュースが多いことを願うばかりです。

今年1年もけやきをご利用頂き本当にありがとうございました。良いお年をお迎えください。

看護師より...

「低温やけどの対処法と注意点」

低温やけどとは、カイロや湯たんぽ等、体温より少し低い温度(44度~50度)のものに長時間触れ続けることにより起きるやけどです。症状が見た目にも分かりにくく、痛みを感じにくいことがあるので軽傷と勘違いしてしまいがちです。

通常はやけどとは違い皮膚の奥深くでじっくり進行してしまうので通常はやけどよりも治りにくいのです。

低温やけどの原因になるもの3選

1. 【湯たんぽ・電気あんか】
2. 【使い捨てカイロ】
3. 【電気毛布】



低温やけどの予防方法

1. 【湯たんぽ・電気あんかは就寝時には取り出す】
2. 【使い捨てカイロの使用方法を守る】
※こたつの中や暖房器具の近くでは急激に高温になる為、使用しないようにしましょう。
3. 【就寝時には電気毛布の電源を切るか、普段から電気毛布使用時は温度調節を十分注意する】

低温やけどになったときは、軽傷か重症か分からなくても必ず医療機関を受診しましょう。民間療法や自己判断では治りにくく重症化して感染症の恐れがあります。